サンプル

札幌市採用希望

令和８年度（2026 年度）北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査
資格等による加点及び免除措置申請書

エントリー受付番号									

フリガナ		生年月日	昭和 ・ 平成　　年　　月　　日生
氏　　名			

加点及び免除措置を申請する項目の申請欄に〇をつけ、実施要領に掲げる必要書類を添えて提出してください。
加点の上限は合計で 10 点です。　※「スポーツ・芸術特別加点」は、別の申請書を使用してください。

項目	受検区分・教科	資格等の内容	加点	免除となる検査	申請
英語	小学校・幼稚園 特別支援学校（小学部）	・実用英語技能検定準１級以上の合格者 ・ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴ　72 点以上取得者 ・ＴＯＥＩＣ　Ｌ＆Ｒ／ＴＯＥＩＣ　Ｓ＆Ｗ　1560 点以上取得者	10	－	
	中学校・高等学校 の英語	・実用英語技能検定１級の合格者 ・ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴ　95 点以上取得者 ・ＴＯＥＩＣ　Ｌ＆Ｒ／ＴＯＥＩＣ　Ｓ＆Ｗ　1845 点以上取得者		第２次検査の 実技検査	
	特別支援学校（中学部・高等部）の英語			－	
海外勤務・留学等	小学校・幼稚園 特別支援学校（小学部） 中学校・高等学校及び 特別支援学校（中学部・高等部）の英語	在外教育施設等や海外の民間企業等で２年以上の英語を使用した勤務経験のある者	10	－	
		海外の大学で２年以上の英語を使用した留学経験のある者			
青年海外	全受検区分	独立行政法人国際協力機構（ＪＩＣＡ）が実施する青年海外協力隊の隊員として、２年以上の派遣実績を有する者	10	－	
英語以外の外国語	全受検区分	中学校、高等学校教諭の普通免許状（英語以外の外国語）	5	－	
		日本語教育機関の告示基準（平成 28 年７月 22 日出入国在留管理庁策定）第１条第１項第 13 項の規定に該当する者			
		大学又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者			
		大学又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を 26 単位以上習得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者			
		令和 6 年 3 月 31 日までに公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者			
		学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを 420 単位時間以上受講し、これを修了した者			
		日本語教育機関認定法に基づき、登録日本語教員の登録を受けた者			
複数免許等所有	小学校・幼稚園 特別支援学校（小学部）	中学校教諭の普通免許状（国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語） 高等学校教諭の普通免許状（数学・理科・保健体育・英語）	10	－	
	小学校・幼稚園	特別支援学校（盲学校、聾学校又は養護学校）教諭の普通免許状	5		
	中学校・高等学校 特別支援学校（中学部・高等部）	小学校教諭の普通免許状	10		
	中学校・高等学校	中学校教諭の普通免許状（美術・技術・家庭）※受検教科以外のみ			
	中学校・高等学校	中学校教諭の普通免許状（国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・英語）※受検教科以外のみ 高等学校教諭の普通免許状（商業） 特別支援学校（盲学校、聾学校又は養護学校）教諭の普通免許状	5		
	養護教諭・栄養教諭を除く全受検区分	学校図書館司書教諭の資格を有する者 ※取得見込者は不可			
ＩＣＴ活用	全受検区分	情報処理技術者試験（独立行政法人情報処理推進機構主催）基本情報技術者試験合格者（第２種情報処理技術者試験合格者）又は同機構が認定するこの資格と同等以上の資格取得者	10	－	
国際バカロレア教育	中学校・高等学校	・文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム事務局が実施する国際バカロレアのミドル・イヤーズ・プログラム（MYP）またはディプロマ・プログラム（DP）に係る教科別ワークショップ（WS）のカテゴリー１を修了した者で、資格が有効の者 ・国際バカロレアのワークショップリーダーの資格を有する者	10	-	